

メーリングリスト（FML 及び Mailman）での DMARC 等に関する対応について

平成 27 年 3 月 30 日（update）
学術情報メディアセンター

お 知 ら せ

◆ 1. DMARC（SPAM メール対策の技術）の現状について

AOL や Yahoo 等の大手メールサービスが DMARC (Domain-based Message Authentication, Reporting & Conformance) という SPAM メール対策の技術で、自ドメイン (xxx@aol.com や xxx@yahoo.com) のメール受け取りのポリシーを 2014 年 4 月中旬から末あたりに reject（受け取り拒否）に変更したようです。そのため、メールの From: 行がこれらのドメインになっているメールの配信を拒否されるような状況になりました。

◎ AOL のアナウンス：

<http://postmaster-blog.aol.com/2014/04/22/aol-mail-updates-dmarc-policy-to-reject/>

◎ Yahoo のアナウンス：

<http://yahoomail.tumblr.com/post/82426900353/yahoo-dmarc-policy-change-what-should-senders-do>

◆ 2. DMARC に関するメーリングリストのメール配送の影響について

Mailman や FML など一般的なメーリングリストの標準設定では、From: 行は書き換えない（そのまま差出人のアドレスを From: 行とする）という設定になっています。当 ML サービスでもこの標準設定と同じです。前述の大手メールサービスのポリシー変更により、ML の配送が拒否されるという状況が下記のページのとおり、世界的に発生しているようです。

◎ “All About Yahoo’s DMARC Reject Policy”:

<http://blog.returnpath.com/blog/christine-borgia/all-about-yahoos-dmarc-reject-policy>

◎ “AOL, Yahoo email problems show limits of email security”:

<http://www.zdnet.com/aol-yahoo-email-problems-show-limits-of-email-security-7000028783/>

◆ 3. DMARC に関するメーリングリストでの対応策

基本的には AOL や Yahoo 側のポリシーに関する話なので、部外者であるこちらとしては、どうすることもできません。とりあえず、メーリングリストの設定を、下記のように、ML から配送されるメールの From: 行を ML 名のメールアドレスに置き換えることで配送拒否の状況を回避できるようです。

※ reply-to に対する挙動は、使用するメールソフト等のツールに依存するようです。

★FML の場合：

FML 全体のポリシーの設定ファイル(default_config.ph)に以下の内容を追加することにより、全 FML で From:行が ML 名のメールアドレスとなり、Reply-to:行が差出人に置き換えられます。ただし、ML 送信者が返信先を指定して送信した場合は、そちらを優先します。

```
-----  
$SMTP_OPEN_HOOK = q%  
$Envelope{'fh:from:'} = $MAIL_LIST;  
unless (&GET_HEADER_FIELD_VALUE('reply-to')) {  
    &DEFINE_FIELD_FORCED("reply-to", $From_address);  
}  
%;  
-----
```

※ この設定以外の選択肢として、ML 毎に次のような変更にも対応します。ただし、前述の DMARC の影響により当該大手メールサービスへの ML 配送は拒否されます。

ご希望の際は、末尾の連絡先までご連絡・ご依頼ください。変更対象の ML 名もご指定願います。（複数指定可）

(別の選択肢 1) 変更前の状況と同じに戻すことと同じです。

◎From:の行は、ML 送信者のメールアドレスにする。

◎Reply-to:行は、ML 送信者のメールアドレスにする。ただし、ML 送信者が Reply-to:を指定して ML 送信した際は、そちらを優先する。

```
-----  
$SMTP_OPEN_HOOK = q%  
$Envelope{'fh:from:'} = $From_address;  
unless (&GET_HEADER_FIELD_VALUE('reply-to')) {  
    &DEFINE_FIELD_FORCED("reply-to", $From_address);  
}  
%;  
-----
```

(別の選択肢 2) 変更前の状況で、さらに ML の返信先を ML 名宛にしたい場合

◎From:の行は、ML 送信者のメールアドレスにする。

◎Reply-to:行は、ML 名のメールアドレスにする。ただし、ML 送信者が Reply-to:を指定して ML 送信した際は、そちらを優先する。

```
-----  
$SMTP_OPEN_HOOK = q%  
$Envelope{'fh:from:'} = $From_address;  
unless (&GET_HEADER_FIELD_VALUE('reply-to')) {  
    &DEFINE_FIELD_FORCED("reply-to", $MAIL_LIST);  
}  
%;  
-----
```

★Mailman の場合：

平成 26 年 5 月 28 日(水)深夜に Mailman のバージョンを 2.1.18-1 に更新しました。これにより、Mailman の ML 管理ページにある” from_is_list” 欄で、ML 送信者の From 行を変更できるようになりました。

- ※ 今後に新規登録した Mailman の ML については、初期値として、From:行が ML 名のアドレスになるように設定されます。
- ※ 既にご利用中の Mailman の ML については、従来の設定のままにしています。
- ※ From 行の指定は、次の手順で変更できます。必要に応じて、お手数ですが、Mailman の ML 管理者側で変更して下さい。

1. Mailman の ML 管理ページにログインする。
2. 「全体的オプション」ページの”from_is_list”欄で、「送信者を書き換え」を選択すると、ML 送信時の From 行は ML 名のメールアドレスが指定されます。もし、From 行を送信者のメールアドレスに指定する場合は、「いいえ」を選択します。
3. その他、必要に応じて、返信先メールアドレスの指定をもうご確認ください。
4. 最後に設定を保存するために、下段にある[変更を送信する]ボタンを押す。

mailman メーリングリスト管理
全体的オプション の部

設定分類

他の管理項目

● **全体的オプション**

・ [ハッシュ](#)

・ [言語オプション](#)

・ [会費管理](#)

・ [普通配送オプション](#)

・ [ほとんどの読み込みオプション](#)

・ [プライバシーオプション](#)

・ [配信エラー処理](#)

・ [保存書庫オプション](#)

・ [メール<=>ニュース相互配送](#)

・ [自動応答](#)

・ [添付ファイル除去](#)

・ [話題](#)

・ [未処理の申請を処理](#)

・ [リスト総合案内のページへ](#)

・ [公開 HTML ページとテキストファイルを編集する](#)

・ [リストの保存書庫に移動する](#)

・ [このメーリングリストを削除する](#) (確認が必要です)

・ [ログアウト](#)

以下の項目を変更して、**変更を送信する**のボタンをクリックして送信してください。

全体的オプション

基本的なリストの特性、説明情報、基本動作

説明	値
メーリングリストの全体的な性格	
公表されるこのリストの名称 (大文字への変更だけ可能) (real name の詳細)	Gakujo-mailman
リスト管理者のメールアドレス。複数の管理者を 別々の行にならべてもよい。 (owner の詳細)	who@example.t.sukuba.ac.jp
リスト司会者のメールアドレス。複数の司会者を 別々の行にならべてもよい。 (moderator の詳細)	
メーリングリストの内容を表す語句 (description の詳細)	
このメーリングリストの紹介文 (数段落程度) この紹介文は、総合案内のページに HTML として引用されます。なお、改行は改行タグに変換されますが、詳しい説明は info の詳細を参照してください。 (info の詳細)	
件名の先頭に付ける語句 (subject prefix の詳細)	[Gakujo-mailman %d]
Replace the From: header address with the list's posting address to mitigate issues stemming from the original From: domain's DMARC or similar policies. (from is list の詳細)	☐いいえ ☒送信者を書き換え ☐メール内に添付
メールの送信者を隠して、リストのアドレスに置きかえる (From, Sender と Reply-To を削除します) (anonymous list の編集)	☒いいえ ☐はい
Reply-To:ヘッダの書き換え	
もし、Reply-To:ヘッダがメールに付けられていたら、それを取り除きますか？もしそうなら、Reply-To:ヘッダが Mailman によって付けられたか、はじめから付いていたかにかかわらず取り除かれます。 (first strip reply to の編集)	☒いいえ ☐はい
投稿された記事の返信先を選んでください。(ほとんどのメーリングリストでは投稿者を選ぶことを強く推奨します) (reply goes to list の詳細)	☒投稿者 ☐このリスト ☐別のアドレス
別の Reply-To: アドレス (reply to address の詳細)	

ご参考までに、以下の情報は、平成24年9月29日にお知らせしていた「MLサービスの返信先メールアドレスについて」の情報を、先述の「DMARC (SPAM メール対策の技術)に関する対策」に伴い、赤字にて追記・修正したお知らせとなります。

メーリングリストサービス利用者の皆様

平成26年5月21日
学術情報メディアセンター

お 知 ら せ

■メーリングリストサービスでの返信先メールアドレスについて

メーリングリスト(ML)サービスをご利用頂き、ありがとうございます。FML を利用している皆様にお知らせがあります。(Mailman をご利用の方には、無用のご連絡となりますことをご容赦願います。)

ML から配送されたメールに対して返信する際に、現状では、ML のメールアドレスが返信先に指定されます。メール発信元のみ返信するつもりが、ML メンバー全員に送信されてしまうことが、度々見受けられます。本来であれば、郵便物や銀行の振り込み手続きと同様に、送信先を確認してから実行して頂く必要があります。ただし、日常的に手軽に電子メールを使用している現状においては、時折、不用意に返信してしまうことは、皆様も何度かご経験されていることではないかと思います。従いまして、当 ML サービスでは、できるだけ無用なトラブルを避けるために、次のような ML 運用のポリシーを全 ML に適用したいと考えております。

★ML への返信時の運用ポリシー

- ◎ ML 送信者が Reply-To: を指定して送信した場合には、そちらを優先し、Reply-To: の指定が無い場合には、送信者のメールアドレスを Reply-To: に設定する。
先述の「DMARC に関するメーリングリストでの対応策」の修正も反映した設定にしています。

具体的には、次の設定を ML 全体のポリシーに追加します。

```
$SMTP_OPEN_HOOK = q%  
$Envelope{'fh:from:'} = $MAIL_LIST;  
unless (&GET_HEADER_FIELD_VALUE('reply-to')) {  
    &DEFINE_FIELD_FORCED("reply-to", $From_address);  
}  
%;
```

これにより、当 ML サービスの ML に対して、返信する際は、そのままでは ML のアドレスが返信先に指定されませんので、必要に応じて、適宜返信先をご指定頂くようお願いします。

つきましては、平成26年5月20日(火)18時頃に上記の設定を適用させて頂きました。ML メンバーの方には、返信先の指定と確認について、今後もご留意頂ければ幸いに存じます。
以上、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

■お問い合わせ先：

学術情報メディアセンター メーリングリストサービス担当

- ・電子メール：ml-service@cc.tsukuba.ac.jp
- ・電話：029-853-2457